

# そなえる

## グラツときたら、どうしよう?

いきなりグラグラッ。突然やってくるからこそ怖い地震。

いつ、どこで、どれぐらいの規模の地震が起こるのか

正確に予知するのは大変難しいことです。

私たちにできることは、いざという時、慌てずに適切な行動をして被害を最小限に止めること。月1度は家族で防災について話し合い、避難場所等を確認することも大切です。

9月1日は「防災の日」。東海地震や直下型地震の発生に備え

川崎市は、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、

そして横浜市の六都県市と協力し合い

広域的な防災体制の充実と防災意識の高揚を図るための

防災訓練を毎年行っています。

1991

NO.74

かわさき防災広報誌

1991年(平成3年)7月21日発行  
発行◎川崎市  
編集◎土木局防災対策室  
〒210川崎市川崎区宮本町1番地  
TEL. (044)200-211内線2841

備える



知っていますか、  
9月1日は

# 防災の日

## 家族みんな 防災訓練に参加しよう。



### 川崎市地域防災計画 都市災害対策編の発行のお知らせ

川崎市では、市内の地震災害及び風水害に対応するために川崎市地域防災計画「震災対策編」・「風水害対策編」を策定し、市内の防災活動の指針として活用してまいりました。しかし、最近の川崎市は、都市機能が著しく集中してきているため、地震災害や風水害の自然災害とは違った都市特有の災害が発生する恐れが生じてきており、このような災害から市民の皆様の生命や財産を守るため、本市の防災関係機関で構成されている川崎市防災会議において、川崎市地域防災計画「都市災害対策編」を策定し、この度発行されることとなりました。

「都市災害対策編」は、災害予防・応急復旧に関する防災関係機関の役割を定めるほか、個別的な災害として地下街・高層建築物災害、鉄道災害、高速道路災害及び放射能災害を取り上げ、それぞれの特異性にあつた防災計画を策定しています。今後は、策定済みの「震災対策編」・「風水害対策編」とあわせて川崎市の防災対策の指針として、災害予防・被害軽減に向け活用していくこととなります。

川崎市地域防災計画閲覧場所…各区役所総務課及び土木局防災対策室 問い合わせ先

川崎土木局防災対策室  
電話 20012840

### 放火による火災が急増しています！

## 市民ひとりひとり 地域ぐるみの 自衛が必要です

### 火災原因の第1位は放火

川崎市の放火による火災は、毎年火災原因の1位を占めており、昨年は総火災件数400件の27・8%にあたる106件に達しています。今年には特に、5月31日現在で93件と昨年同日と比べて27件の増加と例年になく多くなっています。そこで、市民の皆さん一人ひとり、地域ぐるみで日頃から次の事項に注意し、放火をされない環境づくりに協力していただくようお願いいたします。

放火は「夜の犯罪」です。放火が行われる時間帯は、夜の10時から明け方までが最も多くなっています。

#### 放火犯がねらうもの

- 軒先に放置されたダンボール箱、ゴミ袋、雑品等。
- ドアにさしこまれた新聞、郵便受けからはみだした封筒類、たれ下がったポスター、カーテン。
- 路上駐車トラックのほろ、車にかぶせられたシート、突きだしテナント。たてかけたよしずなど。
- 工場、作業所からはみ出した廃品、雑品類など。

#### 放火犯がねらう場所

- 路地の入口付近、通りからちよつと入った付近。
- 商店街や市場などの裏通り。

川崎市では、毎年9月1日「防災の日」を中心とする防災週間（8月30日～9月5日）に、市民の皆さんの参加を得て防災訓練を実施しています。本年度の川崎市総合防災訓練は、幸区を中心に4ヶ所の訓練会場を設け、それぞれの地域の実情に即した訓練を実施いたします。また、9月1日が日曜日に当たするため、「家族総出の防災訓練」をテーマに家族みんなが訓練に参加していただけるよう、それぞれの会場で防災に係わる楽しいイベントを用意しておりますので、隣近所で声を懸け合い、家族ぐるみで訓練に参加してください。

### 平成3年度 川崎市総合 防災訓練

#### 放火されない町づくり

- ものかげのあるところ。路上駐車、立看板の陰、とっさに身を隠す物があるところ。
- マンション、アパートの階段付近。出入り自由な工場、作業所。だれでも出入りできる場所。
- 民家の軒下、離れた倉庫の裏付近。

- 1 古市場多摩川河川敷会場  
夜、地震が起これば、古市場多摩川河川敷に住民が避難してきたという想定で訓練を行います。訓練に参加の皆さんには、実際に河川敷に宿泊していただき、テント設置訓練や炊き出し訓練を体験していただきます。
- 2 川崎駅周辺会場  
多くの人が集まり、地震の時のパニックが起きやすいターミナル駅・地下街・商店街・デパートなどにおける混乱の防止や買い物客の安全の確保を目的に訓練を行います。
- 3 河原町団地会場  
高層住宅において、地震のとき、居住者は、どのように行動すればよいかをテーマに訓練を行います。
- 4 新川崎会場  
（新鶴見操車場跡地、幸区小倉）  
4つの会場のメイン会場であり、前半は、防災をテーマとした楽しいイベントを行い、後半は、市民のみなさん・防災関係機関・行政が一体となった総合的な訓練を行います。※なお、9月1日訓練当日は、川崎駅前および新川崎会場周辺における交通規制を初め、各訓練会場において、緊急車両のサイレン吹鳴・ヘリコプターの騒音等近隣の皆さんには、多くの御迷惑をおかけしますので、よろしく協力下さるようお願い申し上げます。

